

報 道 発 表

平成 27 年 2 月 20 日

財 務 省

・不正薬物の押収量が 3 年連続で 600kg 超え ・覚醒剤の摘発件数が過去 2 番目を記録

－平成 26 年の全国の税関における関税法違反事件の取締り状況－

財務省は、平成 26 年の 1 年間に全国の税関が空港や港湾等において、不正薬物の密輸入その他の関税法違反事件を取り締まった実績をまとめましたのでお知らせします。

1. 不正薬物等

不正薬物^{*1}全体の摘発件数は 390 件（前年比 2%増）、押収量^{*2}は約 630 kg^{*3}（前年比 37%減）と、
“3 年連続で 600kg を超える” など、依然として深刻な状況

※1 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（コカイン、ヘロイン、MDMA 等）、向精神薬をいう

※2 錠剤型薬物を除いたもの

※3 薬物乱用者の通常使用量で約 1,885 万回分

[覚醒剤事犯]

摘発件数は 174 件（前年比 13%増）と“過去 2 番目”、押収量は約 549 kg（前年比 36%減）と“過去 5 番目”を記録し、いずれも高水準

- 航空機旅客による密輸入が、摘発件数・押収量ともに“過去 2 番目”を記録
・タイ人による密輸入が 30 件（前年比 15 倍）と、著しく増加
- “中国、タイ”を仕出地とする密輸入が増加
・中国は、摘発件数が 79 件（前年比約 2 倍）、押収量が約 200 kg（前年比約 3 倍）
・タイは、摘発件数が 26 件（前年比 13 倍）、押収量が約 28 kg（前年比約 29 倍）

[大麻事犯]

摘発件数は 99 件（前年比 50%増）、押収量は約 74 kg（前年比約 6 倍）と、件数・押収量ともに前年から“一転して増加”

- 特に大麻樹脂は、摘発件数が 47 件（前年比約 3 倍）、押収量が約 40kg（前年比約 55 倍）と、大幅に増加

2. その他

- 知的財産侵害事犯として、不正 B-CAS カードや DVD 等の密輸入事犯を告発
- 北朝鮮関連事犯として、仕向地を偽った食料品等の不正輸出事犯を告発

[問い合わせ先]

財務省関税局 調査課 関税政策専門官 野中

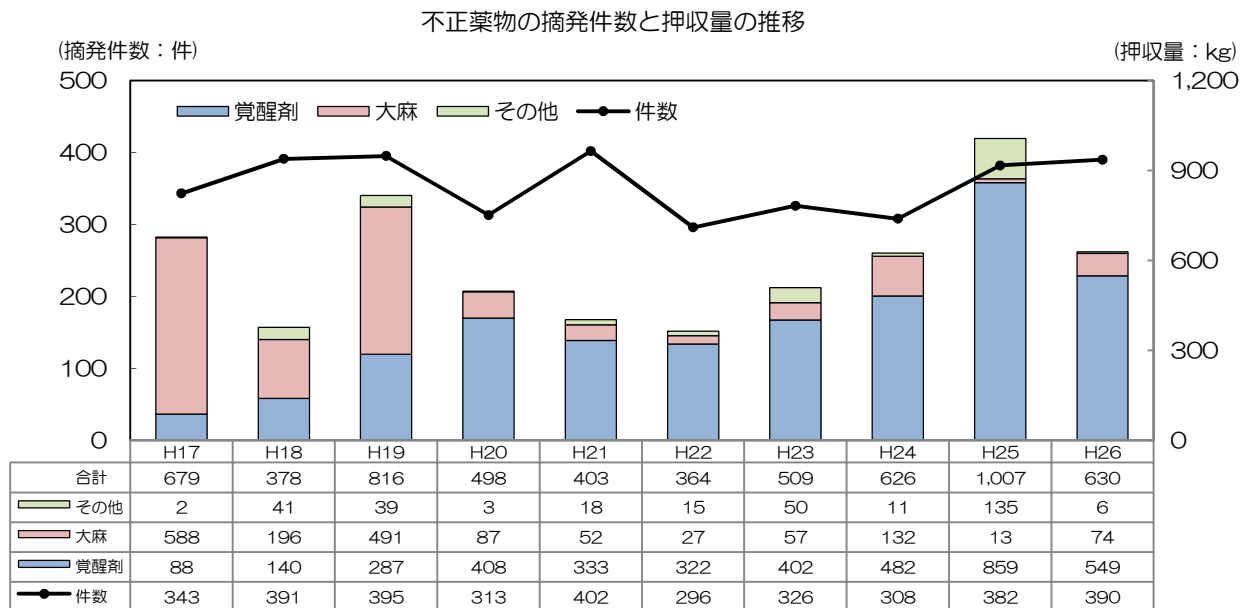
直通 03-3581-4158、代表 03-3581-4111（内 5389）

平成 26 年の全国の税関における関税法違反事件の取締り状況

1. 不正薬物等

不正薬物全体の摘発件数は 390 件（前年比 2%増）と微増し、押収量は約 630kg（前年比 37%減）と、過去 10 年で最高を記録した前年には及ばないものの、3 年連続で 600kg を超えるなど、依然として深刻な状況となっている。なお、押収した不正薬物は、薬物乱用者の通常使用量で約 1,885 万回分に相当する。

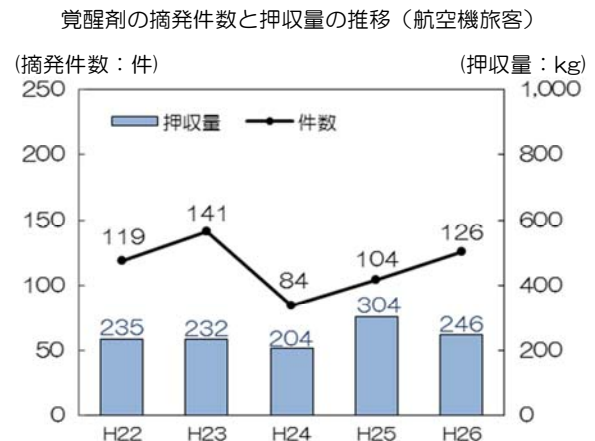
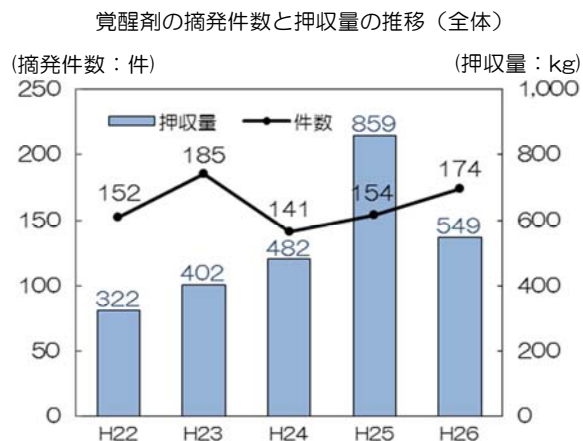
また、覚醒剤が不正薬物全体の押収量の約 9 割を占めた。



※その他とは、麻薬（ヘロイン、コカイン等）、向精神薬及びあへんをいう。

(1) 覚醒剤

- 摘発件数は 174 件（前年比 13%増）と過去 2 番目、押収量は約 549 kg（前年比 36%減）と過去 5 番目を記録し、いずれも高水準となった。
- 航空機旅客による密輸入の摘発件数は 126 件（前年比 21%増）と全体の約 7 割を占め、押収量は約 246 kg（前年比 19%減）と全体の約半数を占め、いずれも過去 2 番目を記録した。なお、押収量は 5 年連続で 200kg を超えるなど、引き続き航空機旅客による密輸入が主流となっていることが窺える。



覚醒剤密輸入者（航空機旅客）の特徴

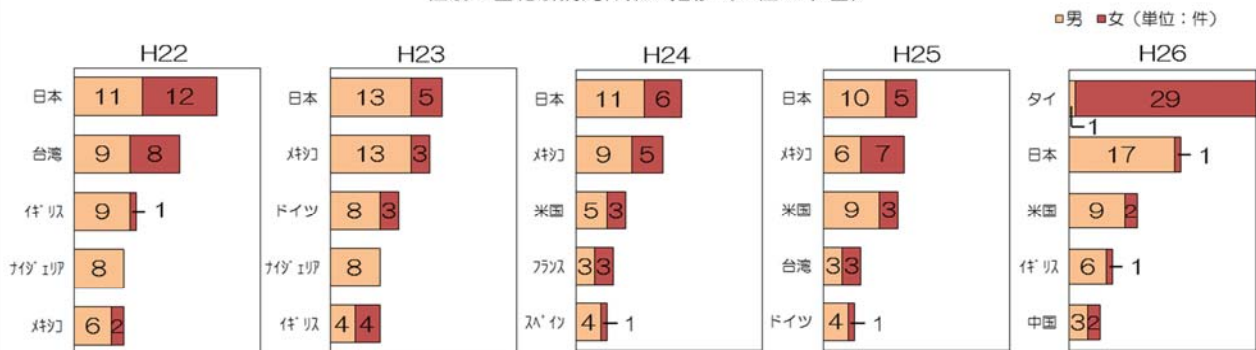
～密輸入者の国籍等～

20～30 代のタイ人女性による密輸入事犯が多発

タイ人による密輸入が 30 件（前年比 15 倍）と著しく増加し、従来最も多かった日本人を抜いて最多となった。

なお、摘発されたタイ人は、30 人中 25 人が 20～30 代の女性であった。

性別・国籍別摘発件数の推移（上位 5 ケ国）



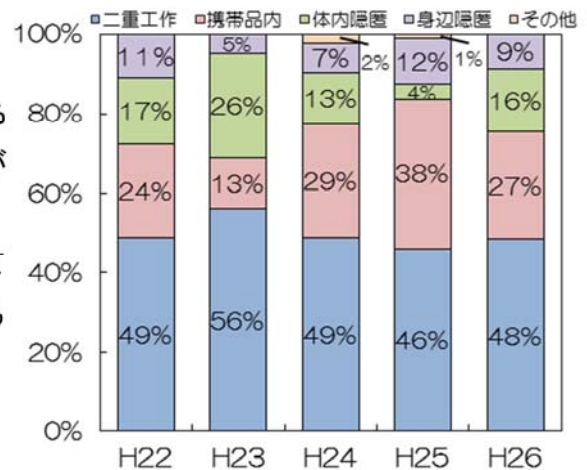
～隠匿手口～

スーツケース等の二重工作が半数 タイ人女性の隠匿手口は体内隠匿

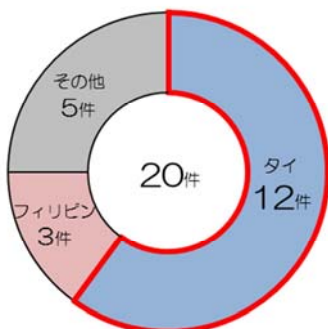
スーツケース等を二重工作したものが 48%と最も多く、次いで土産品等に細工したものが続き、2つの手口で全体の 75%を占めた。

なお、体内隠匿が 20 件と前年から一転して増加し、このうち 12 件がタイ人女性によるものであった。

隠匿手口別構成比の推移



体内隠匿による密輸入者の国籍別構成比
（平成 26 年）



体内に隠匿されていた覚醒剤



覚醒剤の密輸仕出地の特徴

～摘発件数～

中国からの密輸入が倍増

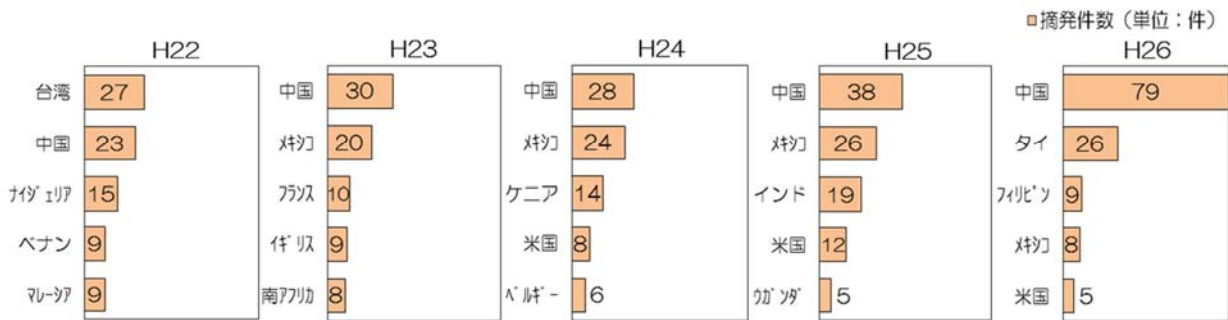
中国が 79 件と前年から倍増し、全体の約半数を占めた。このうち、特に香港が 42 件(前年比約 4 倍)と、大幅に増加した。

また、前年に 19 件の摘発があったインドが途絶えた一方、タイが 26 件(前年比 13 倍)と著しく増加した。

リュックサック内に隠匿されていた覚醒剤



仕出地別摘発件数の推移(上位5ヶ国)



～押収量～

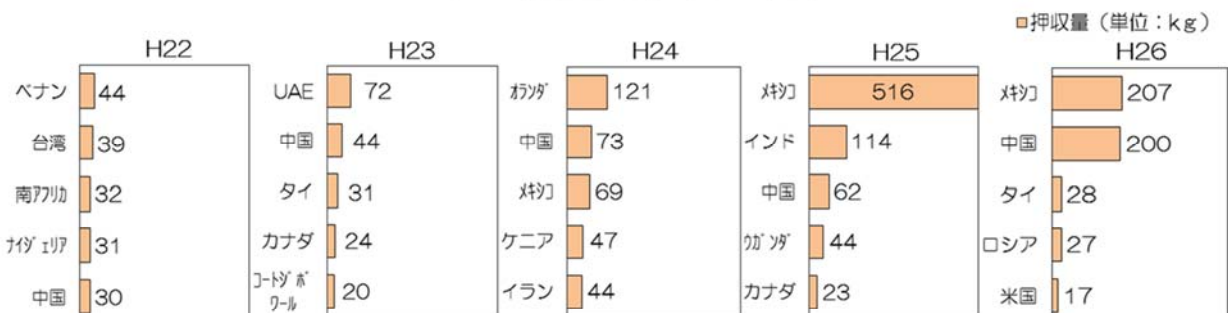
メキシコと中国で押収量全体の約7割

メキシコが約 207kg(前年比 60%減)と、前年に続き最多となり、次いで中国が約 200kg(前年比約 3 倍)と続き、メキシコと中国で押収量全体の約 7 割を占めた。

メキシコからの石材に隠匿されていた覚醒剤

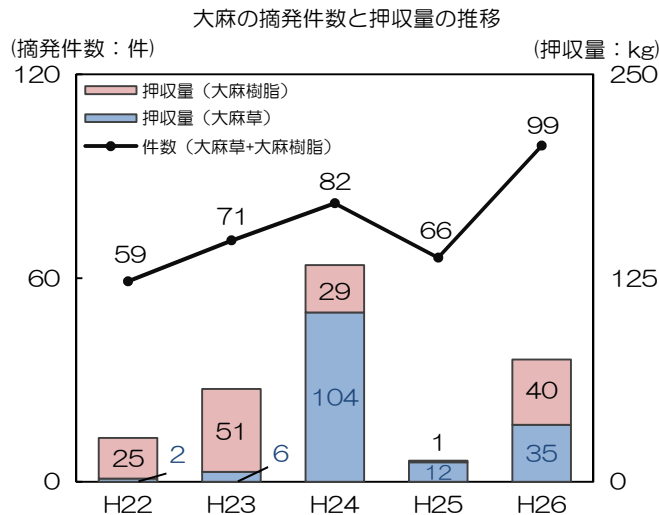


仕出地別押収量の推移(上位5ヶ国)



(2) 大麻

- 摘発件数は 99 件（前年比 50%増）、押収量は約 74kg（前年比約 6 倍）と、件数・押収量ともに、前年から一転して増加した。このうち、特に大麻樹脂は、摘発件数が 47 件（前年比約 3 倍）、押収量が約 40kg（前年比約 55 倍）と、大幅に増加した。
- また、液状の大麻の摘発が 11 件と相次ぐなど、大麻製品の多様化が見られた。



電子タバコのカートリッジに入れた液状の大麻



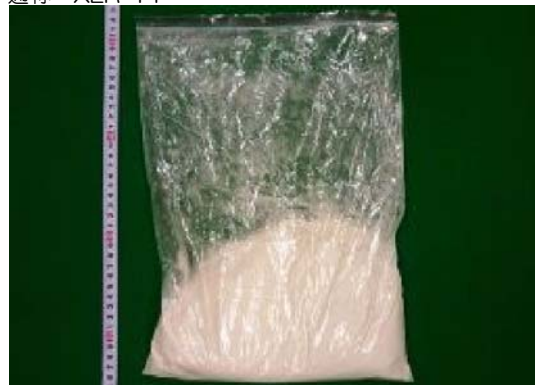
(3) その他不正薬物

- 麻薬の摘発件数は 91 件（前年比 29%減）、押収量は約 6 kg（前年比 95%減）と、件数・押収量ともに減少した。摘発した麻薬を種類別にみると、従来から危険ドラッグの原料といわれている通称“4-MMC”や通称“XLR-11”等の摘発が目立った。
- 向精神薬の摘発件数は 26 件（前年比 21%減）、押収量は約 9 千錠（前年比 12%減）と、件数・押収量ともに減少した。

通称“4-MMC”を含有する植物片



通称“XLR-11”



(4) 銃砲等

- 銃砲の摘発件数は 3 件（前年比 25%減）、押収量は 4 丁（前年比 33%減）と、いずれも減少した。なお、摘発した銃砲はすべて拳銃であった。
- 銃砲部品の摘発件数は 2 件、押収量は 2 点と、いずれも全増となった。

2. その他

(1) 知的財産侵害物品の密輸入事犯

[事例 1]

不正 B-CAS カードの密輸入事犯を告発

平成 26 年 2 月、大阪税関は、台湾から不正競争防止法違反物品である

不正 B-CAS カード 39 枚

を密輸入しようとした日本人男性を関税法違反で告発した。



[事例 2]

商標権を侵害する DVD 等の密輸入事犯を告発

平成 26 年 10 月、東京税関は、中国から商標権を侵害する

DVD、紙箱、紙片、シール 計 1,059 点

を密輸入しようとした中国人男性等を関税法違反で告発した。



(2) 北朝鮮関連事犯

[事例 3]

食料品、衣料品、雑貨等の不正輸出事犯を告発

平成 26 年 9 月、大阪税関は、関係機関との連携の下、

食料品、衣料品、雑貨等 992 カートン

を、最終仕向地が北朝鮮であるにもかかわらず、香港が最終仕向地であると虚偽の輸出申告をし、不正に輸出した日本人女性等を関税法違反で告発した。

(3) その他の事犯

[事例 4]

盗難中古トラクター等の不正輸出事犯を告発

平成 26 年 10 月、門司税関は、関係機関との連携の下、

盗難中古トラクター 1 台及び船外機 46 機

を、税関長の許可を受けずにロシア向け船舶に船積みし、不正に輸出したロシア人男性等を関税法違反で告発した。



(資料1) 社会悪物品の摘発実績

年 種類		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	前年比
覚醒剤	件	152	185	141	154	174	113%
	kg	322	402	482	859	549	64%
大 麻	件	59	71	82	66	99	150%
	kg	27	57	132	13	74	574%
	大麻草	件	45	57	52	52	100%
		kg	2	6	12	35	284%
	大麻樹脂	件	14	14	14	47	336%
		kg	25	51	1	40	54.5倍
あへん	件	2	2	—	1	—	全減
	kg	3	4	—	0	—	全減
麻 薬	件	50	37	46	128	91	71%
	kg	11	44	11	135	6	5%
	千錠	16	5	4	17	2	13%
	ヘロイン	件	4	6	3	2	67%
		kg	1	3	1	0	0%
	コカイン	件	11	9	7	10	100%
		kg	6	38	9	2	2%
	MDMA等	件	2	4	5	5	83%
		kg	—	2	0	0	0%
		千錠	0	0	0	0	550%
	ケタミン	件	10	1	8	7	140%
		kg	4	0	0	1	494%
	メチロン	件	3	3	2	3	150%
		kg	0	1	—	0	200%
		千錠	—	—	0	—	—
	その他麻薬	件	20	14	21	64	63%
		kg	0	0	0	3	590%
		千錠	16	5	4	2	13%
向精神薬	件	33	31	39	33	26	79%
	kg	1	2	—	0	—	全減
	千錠	14	13	12	10	9	88%
合 計	件	296	326	308	382	390	102%
	kg	364	509	626	1,007	630	63%
	千錠	30	18	16	27	11	41%
(参考) 使用回数	万回	1,133	1,550	1,701	3,331	1,885	57%
銃 砲	件	—	—	3	4	3	75%
	丁	—	—	4	6	4	67%
	うち拳銃	件	—	3	4	3	75%
		丁	—	4	6	4	67%
銃砲部品	件	—	1	3	—	2	全増
	点	—	1	3	—	2	全増

- (注) 1. 税関が摘発した密輸入事犯に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
3. 大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計数量を示す。
4. MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計数量を示す。
5. (参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。
(覚醒剤：0.03g、大麻草：0.5g、大麻樹脂：0.1g、ヘロイン：0.01g、コカイン：0.03g、あへん：0.3g、MDMA等及び向精神薬：1錠)
6. 端数処理のため数値が合わないことがある。
7. 数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「—」とは全く無い場合を示す。
8. 平成26年の数値は速報値である。

(資料2) 不正薬物の密輸形態別摘発件数

(件)

形態別	年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	前年比	構成比
航空機旅客等による密輸		152	175	130	135	171	127%	44%
国際郵便物を利用した密輸		110	102	130	204	166	81%	43%
商業貨物等を利用した密輸		27	41	33	30	39	130%	10%
	航空貨物等	20	37	25	26	27	104%	7%
	海上貨物等	7	4	8	4	12	300%	3%
船員等による密輸		7	8	15	13	14	108%	4%
合 計		296	326	308	382	390	102%	100%

(注) 航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

(資料3-1) 覚醒剤の密輸形態別摘発実績

(上段：件、下段：kg)

形態別	年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	前年比	構成比
航空機旅客等による密輸		119	141	84	104	126	121%	72%
		235	232	204	304	246	81%	45%
国際郵便物を利用した密輸		19	18	31	21	22	105%	13%
		20	30	35	7	16	244%	3%
商業貨物等を利用した密輸		11	22	18	19	16	84%	9%
		59	128	236	539	261	48%	47%
船員等による密輸		3	4	8	10	10	100%	6%
		8	11	8	10	27	267%	5%
合 計		152	185	141	154	174	113%	100%
		322	402	482	859	549	64%	100%

(注1) 航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

(注2) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注3) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料３－２) 覚醒剤の主な密輸ルート（仕出地別摘発実績）

(上段：件、下段：kg)

仕出地	年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	構成比	合計
中国（香港・マカオを含む）		23	30	28	38	79	45%	198
		30	44	73	62	200	36%	410
	中国	14	10	14	26	32	18%	96
		12	15	10	43	72	13%	152
	香港	9	20	12	11	42	24%	94
		18	30	63	16	119	22%	245
台湾		27	4	2	1	3	2%	37
		39	5	0	1	0	0%	45
アジア		21	22	12	28	39	22%	122
		31	45	14	129	35	6%	253
	タイ	7	8	3	2	26	15%	46
		8	31	3	1	28	5%	70
	インド	-	1	3	19	-	-	23
		-	0	10	114	-	-	123
	インドネシア	-	-	-	-	2	1%	2
		-	-	-	-	0	0%	0
	ベトナム	-	1	-	-	1	1%	2
		-	0	-	-	3	0%	3
	韓国	-	-	1	-	1	1%	2
		-	-	1	-	1	0%	2
	フィリピン	2	3	4	1	9	5%	19
		0	4	1	0	3	1%	8
中東		16	12	6	6	2	1%	42
		26	80	48	12	4	1%	169
	トルコ	5	5	2	5	2	1%	19
		11	8	1	10	4	1%	33
アフリカ		43	44	31	21	14	8%	153
		144	84	89	90	17	3%	424
	ウガンダ	1	-	2	5	5	3%	13
		2	-	10	44	6	1%	62
	南アフリカ	5	8	3	5	3	2%	24
		32	15	16	20	4	1%	87
	ケニア	-	2	14	4	5	3%	25
		-	4	47	8	6	1%	64
欧州		-	-	-	-	1	1%	1
		-	-	-	-	1	0%	1
	アルメニア	6	39	23	9	17	10%	94
		6	82	157	13	65	12%	324
	ドイツ	-	-	-	-	4	2%	4
		-	-	-	-	6	1%	6
	イギリス	-	5	5	3	1	1%	14
		-	10	15	6	6	1%	37
	オランダ	4	9	3	2	1	1%	19
		4	18	1	2	2	0%	27
	ロシア	-	5	5	2	1	1%	13
		-	8	121	2	2	0%	133
北米		-	-	-	-	4	2%	4
		-	-	-	-	9	2%	9
	スペイン	2	-	1	-	3	2%	6
		2	-	4	-	10	2%	16
	ロシア	-	1	-	-	1	1%	2
		-	1	-	-	27	5%	28
	ロシア	-	-	-	-	-	-	-
中南米		5	12	10	17	6	3%	50
		12	40	30	36	20	4%	138
	米国	1	6	8	12	5	3%	32
		0	16	22	12	17	3%	67
その他	カナダ	4	6	2	5	1	1%	18
		12	24	8	23	4	1%	71
その他		11	22	26	26	9	5%	94
		34	22	72	516	208	38%	851
	メキシコ	7	20	24	26	8	5%	85
		22	19	69	516	207	38%	833
合計		-	-	3	8	5	3%	16
		-	-	0	1	0	0%	1
合 計		152	185	141	154	174	100%	806
		322	402	482	859	549	100%	2,614

(注１) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注２) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料4-1) 大麻の密輸形態別摘発実績

(上段：件、下段：kg)

形態別	年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	前年比	構成比
航空機旅客等による密輸		16	19	31	19	32	168%	32%
		5	0	63	1	28	46倍	38%
国際郵便物を利用した密輸		28	35	34	40	47	118%	47%
		2	9	12	10	4	38%	5%
商業貨物等を利用した密輸		11	14	11	5	16	320%	16%
		19	47	58	2	41	22倍	56%
船員等による密輸		4	3	6	2	4	200%	4%
		0	0	0	0	1	97倍	1%
合 計		59	71	82	66	99	150%	100%
		27	57	132	13	74	574%	100%

(注1) 航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。

(注2) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注3) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料4-2) 大麻草の主な密輸ルート（仕出地別摘発実績）

(上段：件、下段：kg)

仕出地	年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	構成比	合計
中国（香港・マカオを含む）		2	1	3	1	4	8%	11
		0	1	0	0	1	3%	2
アジア		8	11	6	10	6	12%	41
		0	1	0	0	0	1%	2
アフリカ		2	1	2	1	1	2%	7
		0	0	0	0	0	0%	0
欧州		10	16	13	11	11	21%	61
		1	1	0	0	0	0%	2
北米		19	25	29	22	24	46%	119
		1	3	103	12	33	95%	152
米国		18	24	22	22	20	38%	106
		1	3	103	12	33	95%	152
中南米		1	-	2	4	2	4%	9
		0	-	0	0	0	0%	0
その他		3	3	3	3	4	8%	16
		0	0	0	0	0	0%	0
合 計		45	57	58	52	52	100%	264
		2	6	104	12	35	100%	158

(注1) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(資料4-3) 大麻樹脂の主な密輸ルート（仕出地別摘発実績）

(上段：件、下段：kg)

仕出地	年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	構成比	合計
中国（香港・マカオを含む）		-	-	4	1	2	4%	7
		-	-	1	0	0	0%	1
アジア		5	9	9	3	11	23%	37
		8	51	28	0	37	93%	123
インド		-	7	7	3	9	19%	26
		-	43	26	0	32	80%	101
中東		1	-	-	-	-	-	1
		12	-	-	-	-	-	12
アフリカ		-	1	1	-	-	-	2
		-	0	0	-	-	-	0
欧州		7	1	10	7	11	23%	36
		5	0	0	0	0	0%	5
北米		1	3	-	3	22	47%	29
		0	0	-	0	3	7%	3
米国		1	3	-	3	22	47%	29
		0	0	-	0	3	7%	3
中南米		-	-	-	-	-	-	-
		-	-	-	-	-	-	-
その他		-	-	-	-	1	2%	1
		-	-	-	-	0	0%	0
合 計		14	14	24	14	47	100%	113
		25	51	29	1	40	100%	145

(注1) 端数処理のため数値が合わないことがある。

(注2) 数量の表記について、「0」とは500g未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。

(参考) 関税法等違反事件の犯則態様別処分件数

【告発処分件数】

(件)

犯則態様	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年		
						前年比	構成比
禁制品輸出入事犯	225	256	211	218	244	112%	92%
関税脱税事犯	4	3	3	3	5	167%	2%
無許可輸出入事犯	8	2	12	9	7	78%	3%
虚偽申告事犯	6	11	11	4	9	225%	3%
その他秩序犯	-	-	-	-	-	-	-
合 計	243	272	237	234	265	113%	100%

【通告処分件数】

(件)

犯則態様	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年		
						前年比	構成比
禁制品輸出入事犯	281	196	160	128	128	100%	33%
関税脱税事犯	57	57	47	43	62	144%	16%
無許可輸出入事犯	116	183	151	110	195	177%	50%
虚偽申告事犯	13	23	10	6	5	83%	1%
その他秩序犯	7	21	6	1	1	100%	0%
合 計	474	480	374	288	391	136%	100%